

# 「チャレンジクラス」申合せ事項

- 1 本大会は、令和 6 年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」および本大会申合せ事項を適用する。
- 2 競技順序は「実施種目一覧表」の上から順番に行い、レースは女子から男子、障害区分番号の上から順に行う。
- 3「実施種目表」①・②・③・④は、各種目 制限時間を設けて実施する。その制限時間を超えた場合は、タイムオーバーで失格とする。  
「実施種目表」①・②では、泳者は歩行しても浮助具を使用しても良い。  
「実施種目表」①・②・④では、介助者は声かけ・伴泳はしても良い。  
ただし、泳者より前に進んだり、泳者に触れた場合は失格となる。  
※プログラムの特記事項に「水介」とついている選手は水中介助者あり。
- 4 伴泳者は水面から手を出す事。  
※水面から手を出すのが、難しい方は事前に申し出ること。
- 5「実施種目表」①のゴールは、スタートラインから 15m の位置にプールサイドの両側に設けたゴールライン（赤）を結んだライン上に達した時点で判定する。
- 6 浮助具を使用する選手のゴールタッチは、身体の一部が壁に触れたことにより判定する。
- 7 招集所は体育館内とし、招集は競技開始の 15 分前開始。5 分前終了とする。時間に遅れた場合には棄権とみなし、呼び出しは一切行わないので注意すること。
- 8 競技時間は進行の都合により変更する場合があるので、招集所の表示に注意すること。
- 9 浮助具使用の選手は、自ら持参した浮助具を使用できる。
- 10 全種目水中スタート